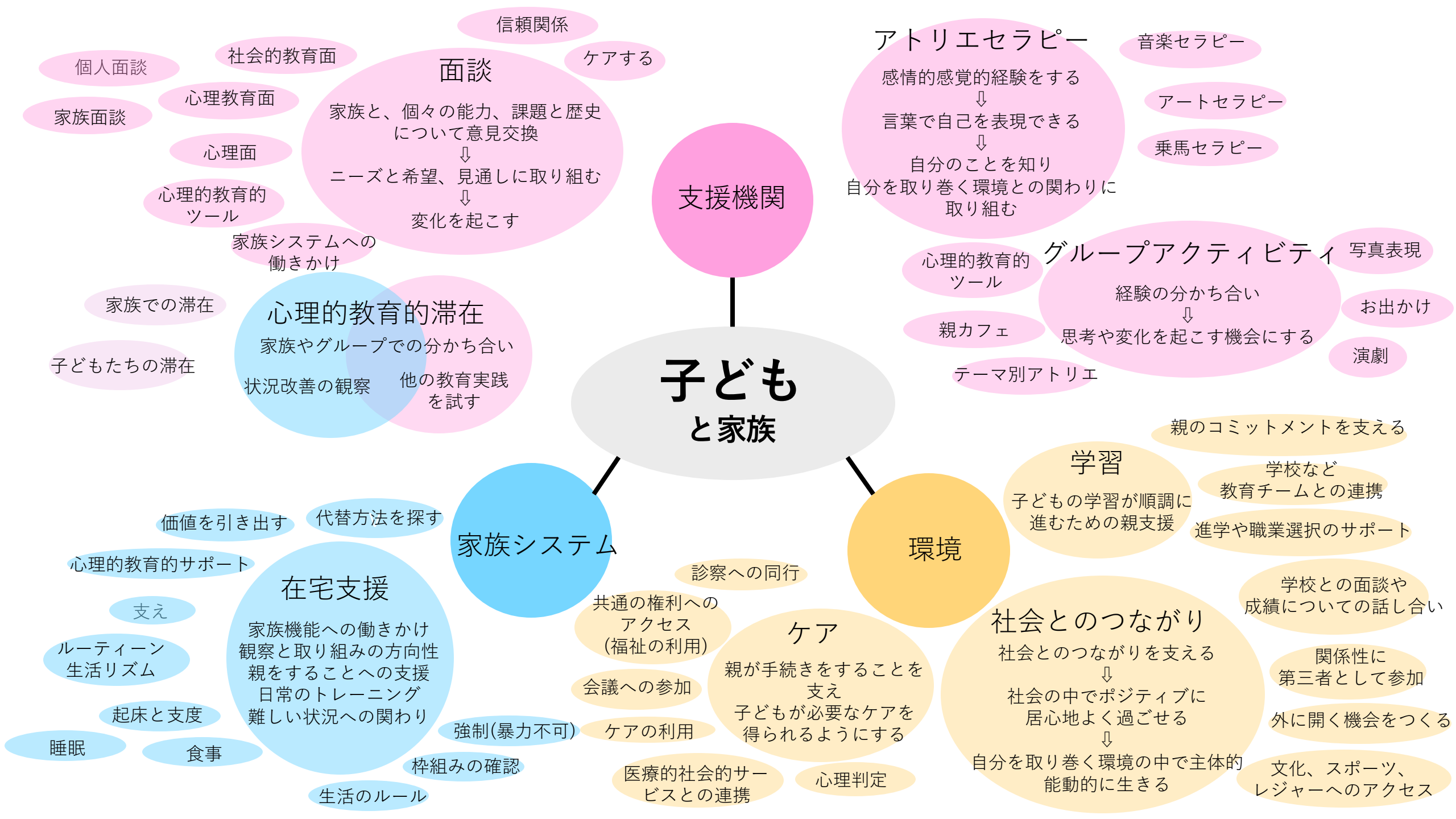




在宅集中支援の6ヶ月

1. スタート 係長よりチームに紹介
2. 児童相談所より在宅集中支援機関に家族の紹介
係長、エドューケーター、担当、心理士
最初の方向性の確認
3. 家族と最初の面談(支援のスタート)
児童相談所にて
4. 最初の手続き
家族が在宅集中支援機関に来る
在宅集中支援の説明、個人計画書の作成
最初の支援の目的の話し合い
サービスの説明や利用者の権利についての冊子を渡す
5. 心理的社会的サポートの開始
家庭訪問、面談、グループアクティビティ
子どもの周りにいる連携先とのやりとり
家族の中で変化を起こす

6. 1ヶ月
チーム全員に家族について紹介
チームで思考、サポートのポイントの話し合い
アイデアや視点を交える
7. 3ヶ月
子ども、家族、エドューケーター、心理士で個人計画書について話しあい
進歩について意見交換し、新しい目的を決める
8. 4ヶ月半
会議の実施。チームでサポートの続きについて思考
児童相談所、すべての連携機関と会議を実施
進歩の状況を確認し、続きのサポート方法の提案について考える
9. 5ヶ月
家族と支援期間終了前の振り返り
支援機関で面談。家族、係長、エドューケーター、心理士
状況について確認とこの後について提案
10. 5ヶ月
進歩について報告書の作成、今後の提案
11. 6ヶ月
児童相談所、家族と今後について決定
更新⇒5-11。最長1年半
終了⇒お別れ会の開催準備
言葉で期間を整理し、プレゼントとアルバムを渡す。連携先に報告。